

ヒストリックカーをアシに使う、ということ。

若い頃から夫婦揃って好きで、ようやく手に入れることができたクルマなのだから、さすがに毎日の仕事に使おうとまでは思わないものの、気の向いたときにはヒョイと気軽に乗って出たいという気持ちがあるのは当たり前。

古いメルセデスはしっかりと手をかけてやればアシ代わりにすらなる、と聞かされたことは何度かあって、少し期待していたところがあったのも確かだ。

けれど、まさか本当にそういう使い方ができるとは考えてもいなかった。妻と食事に出掛けるるとき。私にとっては少々退屈な買い物の運転手を務めるとき。そんな日常すら、この小さくて可憐な SL で走ると、穏やかに心が浮き立ってくる。

もちろんそれはしっかりと整備をしてもらっているからなのだが、工場の親父さんが「最後の仕上げです」と入れてくれた『ゾイル』の存在も大きい。

寒くてもクランキングは短く、アクセルを踏み込めば驚くほど滑らかで軽やか、45年前のクルマであるのが嘘のようにシュルシュルと気持ちよく走るようになった。

けれど親父さんによれば、それは嬉しい副産物のようなものであって、目的は潤滑性を徹底的に高めてエンジン内部の部品を手厚く保護するためらしい。いつも気持ちよく走れること、クルマが長生きできること。私にはどちらも大切だ。

“クルマは走ってこそ”が信念。SL とも『ゾイル』とも長いつきあいになりそうだ。



SUPER ZOIL for 4cycle
200ml・¥6,800/320ml・¥9,800/450ml・¥12,800/4000ml・¥100,000
(全て税別)



株式会社パパコーポレーション
Tel 03-3589-8000 Fax 03-3589-8080
e-mail/info@superzoil.com

パンフレット、資料請求は—

www.superzoil.com

*ホームページが新しくなりました